

## 平成28年度海事科学部学生後援会アンケートの自由記述に対する回答

### 『履修・授業・教育について』

Q-1. 履修する科目が複雑でわかりにくいです。子どもと離れて住んでいるので学生便覧などが手元になく必修科目の単位数など分かり易くなればと思います。乗船実習に出る時があるので単位を落とすと再履修できないなどカリキュラムとの関係が分かれば良いと思います。

A-1. 学部ホームページから学科別の授業科目と単位などの一覧をご覧ください。また、科目間の関係や履修の流れがわかるカリキュラムフローなどもホームページ上で公開しておりますので、ご覧ください。

Q-2. 卒業後の6ヶ月乗船は乗船実習科ですか？

A-2. 乗船実習科は、グローバル輸送科学科航海マネジメントコース、又はマリソンエンジニアリング学科機関マネジメントコースにて三級海技士の筆記試験免除に必要な科目、単位を修得することによって進学できます。期間は学部卒業後の4月から9月の6ヶ月間です。

Q-3. 専門性があり、社会に開かれた大学と関心しております。要望として、せっかく海事科学部で学ばせて頂くので、船の構造・運航について少しでも身につける事ができればと思います。海洋安全システム科学科ですが、乗船演習学習もあればと思います。

A-3. 残念ながら、海洋安全システム科学科のカリキュラム上、乗船実習科目は提供されておられません。一方、「船舶工学」や「浮体運動力学」などの船舶運動に関する専門科目を学ぶことは可能です。

Q-4. 単位を落とした場合、航海科、機関科の生徒は、次年度以降、その教科を受講出来ない（実習の為）とのことですが、次年度以降も是非受講出来るようにしてください。

A-4. 単位を修得できなかった授業科目が、次年度一律履修できない訳ではありませんが、航海マネジメントコース、機関マネジメントコースは、必修科目や海事免許取得に必要な科目が多数存在するため、単位を修得できなかった科目と次年度該当科目と開講日程が重複した場合には、どちらかの科目が履修できなくなります。このため、必要な科目は落とさないように、配当年次に単位修得するようにしてください。

Q-4. 1年生の母親です。本学部に保護者会のような組織があるので心強く思っています。多分2年次に乗船実習に参加すると思うのですが、実習中の様子などFaceBook等で知ることができればと思いました。今年の2年の実習など探しましたが見つかりませんでした。心配の面+興味(どのようなことをしているのか)もあるので。

A-4. 昨年度まで乗船実習を司ってきた航海訓練所のホームページでは、乗船実習の概要について紹介するHPがありました。4月からの新組織である海技教育機構のHPでは、それらがなくなりました。現在、再びHPでの実習概要の掲載を機構側へお願いしているところです。また、実習を経験した2年生が1年生に実習内容を紹介する船舶実習1報告会  
(<http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/news/2016/20161116.html>)を本年度から開催しております。

Q-5. 神戸大学に入学できたことを喜んでいましたが、今は海事科学部での日々に充実感を感じているようです。他に類のない特色ある研究教育機関として今後も海事科学部だからできることを追求して欲しいと考えます。ひとつ要望するならばⅧにもありましたが、学生の英語力向上には更に注力して頂きたい。ICUまでは求められずとも上智大学程度の英語力養成は是非とも、すぐにでも取り組んで頂きたいと考えます。英語ができなければアジアでさえも(アジアだからこそ?)生き残れません。3.4回生における一層の強化を望みます。

A-5. 全学共通科目、学部共通科目などにおける通常の語学科目の他に、専門科目における英語講義も導入を始めております。その他、神戸大学としてTOEIC受験費用の支援制度、本学部後援会が支援するTOEIC講習会、毎週水曜日の昼休みに外国人教員による「English Café」の開催など、英語を学習する機会を様々提供しており、学生に広報、周知しておりますので、是非、積極的に活用してもらいたいと存じます。また、海外留学や研修につきましては、全学的な募集と海事科学部独自の募集もございますので、教務学生グループや学級指導教員へお問い合わせください。

#### 『就職・学生生活について』

Q-6. 大学院卒者の求人情報を教えてください。

A-6. 大学院の進路・就職支援についても学部生と同様に行っており、求人情報については、就職指導教員または教務学生グループに企業からの求人票が届

いており、閲覧できるようにしています。また、大学全体の求人については、キャリアセンターに求人票が届いております。

Q-7. 海外留学プログラムがあるならご教示下さい。

A-7. 神戸大学では、世界40カ国・地域、189校の協定大学、また海事科学部では8カ国、13大学の協定大学と学生交換を行っています。留学期間は、1学期間または1年間です。交換留学の大きなメリットは、留学先大学と授業料等を相互不徴収としているため、本学に授業料を納めるだけで留学することができます。また、留学先で修得した単位は、本学の単位として単位互換が可能です。交換留学のための奨学金制度もありますので、是非協定校への交換留学に挑戦してください。ただし、現地の言語で授業を受けるので語学力は必要となります。

Q-8. たかが食べ物のことでとお笑いになるかもしれませんが保護者(母)として在学の子どもの昼食について心配していることがあります。1年在学時は六甲キャンパスで昼食については不自由を感じることはなかったようですが、深江に参りまして生協食堂の設備と内容(メニュー)に不満を訴えるようになりました。油ものが多く栄養のバランスが悪い上に時間帯が集中するので売り切れてしまったり、席を確保することも苦労するといった内容です。家を離れ食事は三食とも自分で考えて、きちんと栄養のあるものを特に気をつかうこともなく食べられたら有り難いと願っております。

A-8. <生協より回答>

①設備に関しまして

海事科学部食堂は六甲キャンパス食堂と比べて、ホール、厨房とも狭く、サラダバーなどの設備を置くスペースもありません。そのため、六甲キャンパス食堂と同じようなメニューを提供するのはとても困難な実態です。

②メニューに関しまして

六甲キャンパスの食堂のようにカウンターが広くありませんので、好きな主菜(炒め物、魚、煮物、焼き物など)等を選んでくみあわせていただくカフェテリアスタイルの提供が実現できません。以前は確かに揚げ物が多かったですが、現在は揚げ物以外のメニュー(煮物、魚、焼き物3種類)を日替わりで毎日、提供しております。

また、栄養バランスの良い食事を取っていただけるように、栄養士が考案しました、野菜を120g以上使った「バランスセット」(主菜+小鉢)を日替わりで提供しております。

丼は、揚げ物以外の海鮮や焼き物を使用して提供するように心がけています。

小鉢の種類と提供数も増やしましたので、揚げ物以外の日替わりメニューとセットで食べていただければ、六甲キャンパスの食堂には負けない位の栄養バランスのとれた食事をしていただけるかと思っています。

③売り切れに関しまして

「煮物&小鉢セット」「魚&小鉢セット」はほとんど売り切れないように準備していますので、こちらのメニューをご利用いただければと思います。ただ、「バランスセット」や焼き物メニュー、そして人気メニューは、どうしても売り切れる場合がございます。早い時間に売り切れることの無いように、今後も注意してまいります。

Q-9. 日頃より息子を含む学生徒達の御指導、御鞭撻の程ありがとうございます。今春進学を伴い、学生寮に入寮を希望しておりましたが、残念なことに抽選に洩れてしまいました。学生時代は勉学だけでなく、人間関係など寮生活から得られるものは何にも代え難く大きな財産になると思います。例え短期間でも学年途中からでも入寮の機会を与えて頂けると嬉しく思います。

A-9. 新入生の学生寮の申請は、毎年募集人員より多くの応募者があるため、抽選をさせていただいています。新入生より寮に入る方が多いですが、毎年4月と10月に在学学生を対象に入寮の募集をしています。HP（本学HP＞教育・学生生活＞学生寮）でお知らせしていますのでご確認ください。

Q-10. こども達がより良い学生生活を送れるよういつもご尽力をいただき感謝しています。こどもは、広すぎない深江キャンパスが気に入っているようです。あと少し欲を言わせて頂けるなら、学食がもう少し広ければいいなということでしょうか。これからも変わらぬご支援頂きますようよろしくお願い申し上げます。

A-10. 海事科学部の施設整備に関しては、少しずつではございますが改善を進めており、来年度は2号館の改修工事も予定しております。食堂の拡張につきましても来年度の創基100周年基金での実施を計画しておりますので、是非、募金へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Q-11. 大学生になり息子の自主性にまかせようと思っている。大学では就職に向け、また就職先で力を発揮できるような指導をしていただければと願っています。

A-11. 学生に対する進路・就職指導は、神戸大学キャリアセンターによる情報提供・講座・指導に加え、海事科学部独自に就職ガイダンス（年間9回開催）

や合同企業説明会（年1回）などを開催しており、これらの情報は掲示板・ウェブページで広報すると共に、教務学生グループおよび学級指導教員を窓口として対応しています。また、インターンシップやキャリアパス関連の講義など、進路選択のための機会を多数提供しております。

Q-12. 入学当初、本学部の就職実績についての書類が入っており、良い学部に入ったと思いましたが、ところが、2, 3, 4年と就職戦線等の情報が全く入ってこなくなりました。結局、内々定はいただきましたが、アンケートを答えるぐらいに就職情報を知らせてほしいものです。

A-12. 本学部のHPにて (<http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/job/rsults.html>)、学部および大学院の毎年度の就職状況を公表しておりますのでご覧ください。

#### 『その他』

Q-13. 1. 海運大手3社のコンテナ事業統合（含むスケジュール）と就職活動の関係及び国内海運、海事大手企業の将来的（3・6・9年のスパン）動向について具体的に知りたい、聴きたいと思えます。

2. 神戸大学海事科学部の神戸大学本体での位置付けと貴学部の野心的取り組み・改革化をお聞きしたいと思えます。東京海洋大学と比較して。

A-13. 1. 海運大手3社の現時点での求人状況は、例年と変わりなく行われる見通しです。各社の将来的動向については、各社のHP等でお調べください。基本的に日本の船社は安定した利益を上げており、長期的なトレンドを見ても、海運市場は拡大を続け、今後も新興国や途上国の経済成長の余地は大きく、貿易の拡大が予想されます。

2. 本部局の主体は学部ではなく、大学院海事科学研究科であり、昨年度から神戸大学学長が掲げた武田ビジョンの達成へ向けた様々な教育研究活性化改革に取り組んでいます。主な例として、大学院海事科学研究科のコース再編、国際海事研究センターの改組などが挙げられます。

Q-14. 施設が古く感じるのですが地震や津波への対策、学生への緊急時の対応指導はされているのでしょうか？

A-14. 深江キャンパスにおいて特に教室がある建物の耐震化工事は完了しており、ポンドの防潮堤や屋外の放送設備の整備もなされ、地震災害発生時の避難場所等の掲示も主な箇所に多数設置されております。また、定期的に避難訓練も実施しております。